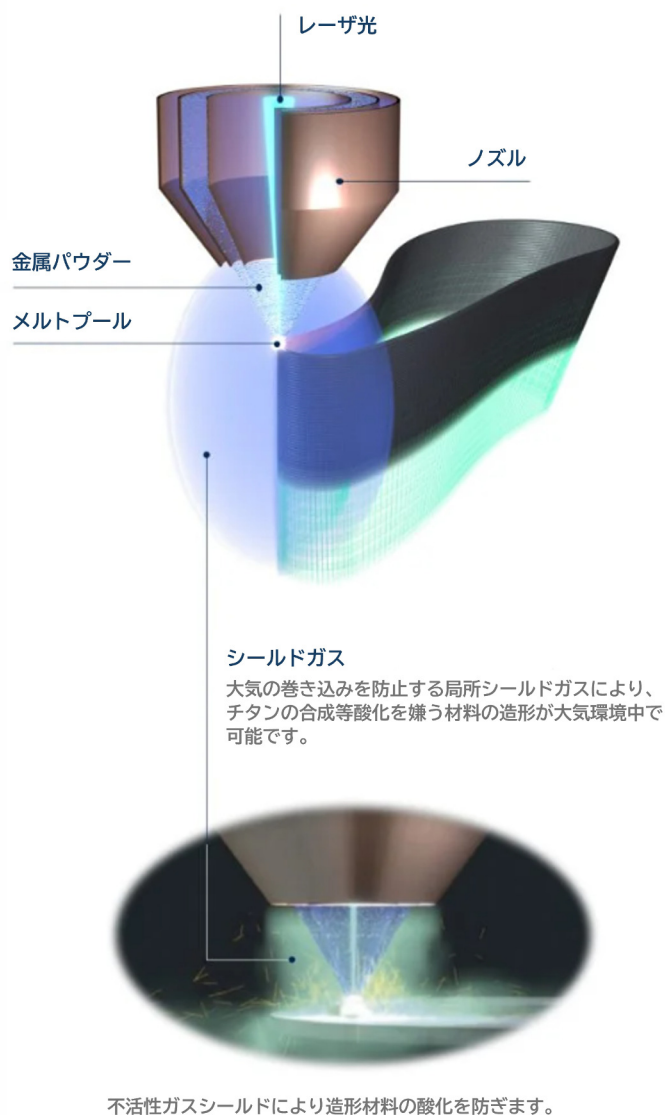


LAMDA特徴

LAMDAシリーズは、パウダDED（指向性エネルギー堆積）方式を採用しており、レーザー（熱源）をワークに照射し、金属粉末を溶融・凝固させ肉盛りさせています。後加工と組み合わせて高精度な部品製作にも適応。部品を造形する技術です。

01 ローカルシールド

- ・大気の巻き込みを防止する局所シールドガスによりチタン合金等酸化を嫌う材料の造形が大気環境中で可能



02 積層品質の向上

- ・フィードバック機能によりメルトプールの状態を安定化し、積層品質を向上
- ・モニタリング機能でメルトプールの状態を記録し品質トレーサビリティを確保

